



復帰50年記念

沖縄の美

6月23日(木) — 8月21日(日)

水色地遠山に落雁文様紅型衣裳 琉球王国時代 19世紀 丈140・0 cm

日本民藝館

<https://www.mingeikan.or.jp/>

THE BEAUTY OF OKINAWA

June 23rd to August 21st, 2022



日本本土や中国、朝鮮、東南アジアの国々の影響を受けながら琉球王国として独自の文化を形成してきた沖縄。その地を当館創設者の柳宗悦（1889-1961）が初めて訪問したのは1938年のことでした。「私たちのように伝統的な工芸品を求めて各地を歩いている者には、琉球の存在は誠に奇跡のようなものであった」と柳は絶賛し、以来、民藝運動の仲間とともに計4回にわたり沖縄を訪れます。土地の風物や言語、暮らし、自然の豊かさに感嘆し、工芸調査や蒐集を精力的に行い、展覧会や雑誌『工芸』などを通してその成果と魅力を広く紹介してきました。

型紙を使って文様を染める華やかな紅型の衣裳や手描きで糊引きするうちくい（風呂敷）、芭蕉や芋麻、絹、木綿などを材に地域ごとに特色のある縞や緋の織物、技法も形態も多様な陶器や漆器とともに、柳らの訪問時に撮影された戦前の沖縄を紹介する写真もあわせて展観。沖縄が日本へ復帰して50年の節目に、改めて沖縄が「美の宝庫」であることを紹介します。



1. 紺地鶴亀松竹梅文様紅型風呂敷 芋麻、筒描 19世紀 110.0×114.0cm/2. 黄色地松皮菱繋ぎに檜扇団扇菊椿文様紅型胴衣 木綿、型染 19世紀 丈95.0cm/3. 白掛緑黒流抱瓶 壺屋 19世紀 11.8×20cm/4. 生成地経緯緋衣裳(部分) 芭蕉 19世紀/5. 白掛色絵梅竹文碗 壺屋 19世紀 7.3×13.5cm/6. 朱漆沈金宝袋形酒器 18-19世紀 24.1×20.6cm/7. 紺地杓格子に緋掛衣裳(部分) 絹、木綿 19世紀/8. 白地霞に松山枝垂桜雁文様紅型衣裳(部分) 19世紀 全て琉球王国時代

□10:00-17:00(入館は16:30まで) □月曜休館(祝日の場合は開館し、翌日休館) □一般1,200円 大高生700円 中小生200円 □西館公開日(旧柳宗悦邸)・会期中の第2水曜、第2土曜、第3水曜、第3土曜(開館時間10:00-16:30、入館は16:00まで) ※変更が生じる場合がございます □〒153-0041 東京都目黒区駒場4-3-33 □TEL.03-3467-4527 □京王井の頭線駒場東大前駅西口より徒歩7分

<https://www.mingeikan.or.jp/>

日本民藝館

